

コントロールセンターを利用する

iPhoneでは、コントロールセンターからもさまざまな設定を行えるようになっています。ここでは、コントロールセンターの各機能について解説します。



1 コントロールセンターで設定を変更する

- ① 画面右上から下方向にスワイプします。



- ② コントロールセンターが表示されます。上部に配置されているアイコン（ここでは青表示になっているWi-Fiのアイコン）をタップします。



- ③ アイコンがグレーに表示されてWi-Fiの接続が解除されます。もう一度タップすると、Wi-Fiに接続します。画面を上方向にスワイプすると、コントロールセンターが閉じます。



MEMO コントロールセンターの触覚タッチ

コントロールセンターの項目の中には、触覚タッチで詳細な操作ができるものがあります。



2 コントロールセンターの設定項目



- ① 機内モードのオン／オフを切り替えられます（P.54MEMO参照）。

- ② モバイルデータ通信のオン／オフを切り替えられます。

- ③ Wi-Fiの接続／未接続を切り替えられます。

- ④ Bluetooth機器との接続／未接続を切り替えられます。

- ⑤ 音楽の再生、停止、早送り、巻戻しができます。

- ⑥ iPhoneの画面を縦向きに固定する機能をオン／オフできます。

- ⑦ 音楽や動画をAirPlay対応機器で再生することができます。

- ⑧ 集中モード（Sec.66参照）の設定ができます。

- ⑨ 上下にドラッグして、画面の明るさを調整できます。

- ⑩ 上下にドラッグして、音量を調整できます。

- ⑪ フラッシュライトを点灯させたり消したりできます。タッチすると明るさを選択できます。

- ⑫ <時計>アプリのタイマーが起動します。タッチすると簡易タイマーが起動します。

- ⑬ <計算機>アプリが起動します。

- ⑭ <カメラ>アプリが起動します。タッチすると撮影モードを選択できます。

- ⑮ <カメラ>アプリのQRコードカメラが起動します。

MEMO コントロールセンターのカスタマイズ

コントロールセンターの項目は、追加や削除、移動などが自由にカスタマイズできます（Sec.64参照）。

留守番電話を確認する



留守番電話は、ロック画面や<電話>アプリで確認できます。留守番電話を利用するには、「お留守番サービスEX」(有料)もしくは「電話きほんパック」(有料)に加入しておく必要があります。

留守番電話を聞く

① ホーム画面を表示し、をタップします。



② <留守番電話>をタップします。



③ 留守番電話を聞きたい相手の連絡先をタップします。



④ をタップすると、保存されたメッセージを聴くことができます。

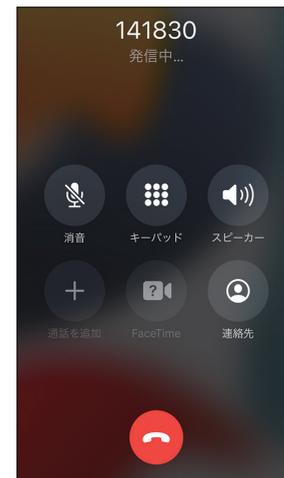


留守番電話の呼び出し時間を設定する

① P.40手順①~②を参考に<電話>アプリの「キーパッド」画面を表示し、「1418」と入力し、さらに留守番電話の呼び出し秒数(5~55秒。ここでは「30」)を入力して、をタップします。



② 設定が完了すると、音声案内で「設定を承りました」とアナウンスされ、通話が終了します。なお、初期状態では24秒に設定されています。



MEMO 電話きほんパックで便利に利用する

auのiPhoneで留守番電話を利用するには、オプションサービスの「お留守番サービスEX」(有料)への加入が必須となります。auではこのサービスのほか、「迷惑電話撃退サービス」(有料)、「三者通話サービス」(有料)、「待ちうた」(有料、2021年12月31日でサービス終了)の4つのサービスをセットとしている「電話きほんパック」を有料で用意しています(「割込通話サービス」(有料)もセットにした「電話きほんパック(V)」も用意されています)。「お留守番サービスEX」へ加入するのであれば、こちらを検討してみるのもよいでしょう。

お留守番サービスEX (有料)

迷惑電話撃退サービス (有料)

三者通話サービス (有料)

待ちうた (有料)

上記4サービスのセット「電話きほんパック」(有料)

メールを設定する

iPhoneではテキストでの連絡用に、<メール>と<メッセージ>の2つのアプリが用意されています。まずはWi-Fiを未接続にしたあと、設定を行きましょう。



<メール>アプリと<メッセージ>アプリ

iPhoneでは、<メール>と<メッセージ>というアプリを使って、相手とテキストで連絡を取り合えます。<メール>アプリでは、パソコンのメールソフトのように、「iCloudメール」や「Gmail」など複数のメールアカウントを設定して、それぞれ使い分けことができます。会社やプロバイダーのメールアカウント、また各キャリアで用意されているメールアカウントも登録可能です（Sec.22～25参照）。一方<メッセージ>アプリは、SMSとMMS、iMessageの3つのサービスが利用できます（Sec.20～21参照）。送受信した内容が吹き出しのように画面の左右に一覧表示され、これまでの履歴をすぐ確認できるのが特徴です。

auのiPhoneでは、1つのメールアカウント（キャリアメール）に対して連絡用のアプリが2つ用意されていることから、相手から連絡が来た場合、どのように受信するか事前に決めておく必要があります。<メッセージ>アプリで自動受信した内容を<メール>アプリでも手動で受信するか、<メッセージ>アプリは使用せず<メール>アプリだけで相手からの連絡をすべて送受信するかのどちらかを選べます。

本書では<メール>アプリで受信する方法を解説しています。<メッセージ>アプリで受信する方法はP.71MEMOを参照しましょう。



<メール>アプリは、携帯電話と同じようにキャリアメールを利用できます。



<メッセージ>アプリは、やり取りした内容をすぐに確認できます。

初期設定を行う

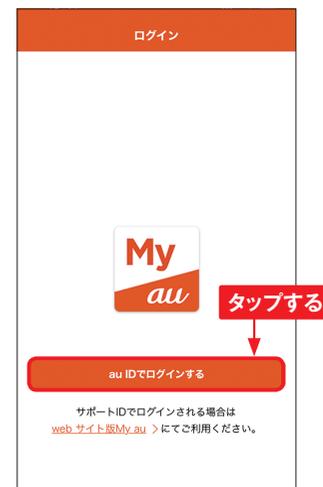
- 1 Sec.44を参考に、<My au>をインストールしておきます。ホーム画面で<My au>をタップします。



- 2 初回起動時は通知の送信についての確認が表示されるので、<許可>をタップします。



- 3 <au IDでログインする>をタップします。



- 4 <SMS送信画面へ>をタップします。



iMessageの 便利な機能を使う

<メッセージ>アプリでは、音声や位置情報をスムーズに送信できる便利な機能が利用できます。なお、それらの機能を利用できるのは、iMessageが利用可能な相手のみとなります。

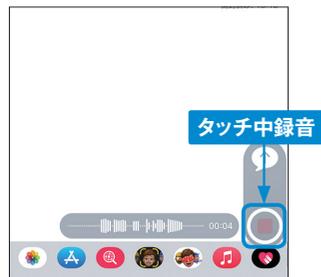


📷 音声をメッセージで送信する

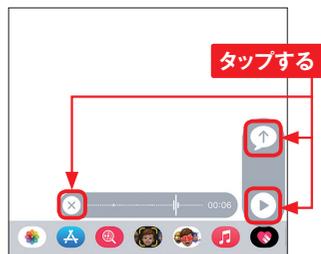
- ① <メッセージ>アプリでiMessageを利用中に、🎤をタッチします。



- ② 音声の録音が開始されます。画面をタッチしている間、録音されます。録音が完了したら指を離します。



- ③ 音声をそのまま送信する場合は、📤をタップします。🎵をタップすると、録音したメッセージが再生されます。🗑️をタップすると、キャンセルできます。



- ④ 音声を送信されます。



📧 メッセージで利用できる機能

メッセージでは、iMessageに対応したアプリやメッセージ効果を利用して、メッセージを装飾することができます。

● 各ボタンの機能



- ① 写真を撮影して送信できます (P.96参照)。

- ② ③～⑨のアイコンの表示/非表示を切り替えます。

- ③ メッセージに写真や動画を添付できます (P.95参照)。

- ④ iMessages App Storeが開き、iMessage対応アプリをダウンロードできます。

- ⑤ GIF画像の検索と送信ができます。

- ⑥ ミー文字の作成と送信ができます (P.92参照)。

- ⑦ ステッカーを送信できます。

- ⑧ <ミュージック>アプリ (Sec.36～37参照) で最近聞いた曲を共有できます。

- ⑨ Digital Touchを使ってスケッチのアニメーション、タップ、キス、ハートビートなどを送信できます。

● メッセージに効果を加える



メッセージを入力し、👆をタッチするとエフェクトが表示されます。エフェクトには、「吹き出し」と「スクリーン」の2タイプがあります。

● 手書きメッセージを送信する



iPhoneを横向きにしてキーボードの🖋️をタップすると、手書き文字の入力画面になります。画面をなぞることで文字を書けます。

複数のWebページを同時に開く

Safariは、タブを使って複数のWebページを開くことができます。よく見るWebページを開いておき、タブを切り替えていつでも見ることができます。

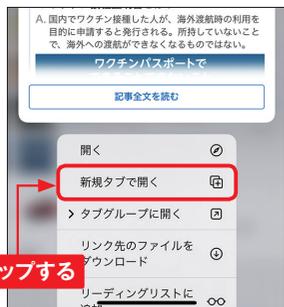


新規タブでWebページを開く

① 開きたいリンクをタッチします。



② メニューが表示されるので、<新規タブで開く>をタップします。



③ 新規タブが開き、タッチしたリンク先のWebページが表示されます。



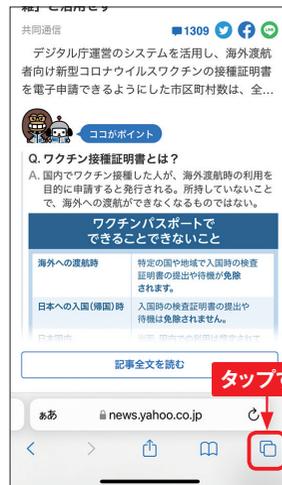
MEMO 新規タブを表示する

P.123手順②で+をタップすると、新規タブが表示されます。P.120やP.130を参照して、Webページを閲覧しましょう。



複数のWebページを切り替える

① タブの切り替えは画面下部の□をタップします。



② 閲覧したいタブをタップします。×をタップすると、タブを閉じることができます。



③ 目的のWebページが表示されます。なお、タブバーを左右にスワイプすることでも、タブを切り替えることができます。



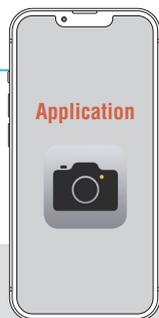
MEMO タブをまとめて一気に閉じる

開いたタブは手順②の方法でも閉じることができますが、まとめて削除することも可能です。手順①の画面で□をタッチし、<全てのタブをすべて閉じる>をタップすると、開いているタブをまとめて閉じることができます。



写真を撮影する

iPhoneには背面と前面にカメラがあります。さまざまな機能を利用して、高画質な写真を撮影することが可能です。暗いところでもきれいに撮影ができます。



6 写真を撮る

- ① ホーム画面で<カメラ>をタップします。位置情報の利用に関する画面が表示されたら、P.74MEMOを参考に設定します。



- ② 画面をピンチすると、ズームをすることができます。また、画面下部の📷をタップして広角カメラと超広角カメラの切り替え、タッチしてスライダーをドラッグすることで、倍率を変更することができます。



- ③ ピントを合わせたい場所をタップします。オートフォーカス領域と露出の設定が黄色い枠で表示され、タップした位置を中心に自動的に露出が決定されます。



MEMO QRコードの読み取り

<カメラ>アプリでは、QRコードの読み取りができます。カメラにQRコードをかざすだけで自動認識され、Webサイトの表示などが行えます。QRコードが読み取れない場合は、ホーム画面で<設定>→<カメラ>の順にタップし、「QRコードをスキャン」が🟢になっていることを確認しましょう。

- ④ 📷をタップすると、撮影が実行されます。



- ⑤ 写真モード時に📷をタッチすると、動画を撮影することができます。画面から指を離すと、動画の撮影が終了します。なお、タッチしたまま📷まで右方向にスワイプすると、指を離しても、動画撮影が継続されます。



- ⑥ また、写真モード時に📷を左方向にスワイプすると、指を離すまで連続写真を撮影することができます。



- ⑦ 撮影した写真や動画をすぐに確認するときは、画面左下のサムネイルをタップします。写真や動画を確認後、撮影に戻るには、左上の🏠をタップします。



MEMO Pro / Pro Maxのカメラ

本書ではiPhone 13のカメラで解説をしていますが、iPhone 13 ProとiPhone 13 Pro Maxではカメラが少し異なります。Pro / Pro Maxでは背面カメラが3つになっており、遠くの風景を拡大できる「望遠カメラ」が搭載されています。ほかに、被写体に思い切って近づくとマクロ撮影も可能で、マクロ撮影はナイトモード (P.152参照) にも対応しています。さらにApple独自の「Apple ProRAW」形式を設定すると、より情報量の多い未加工の画像データで保存でき、編集の幅が広がります。

翻訳を利用する

<翻訳>アプリでは、音声入力で任意の言語にリアルタイム翻訳ができます。また、言語をあらかじめダウンロードしておく、電波の届かない場所でも利用できるようになります。



音声を翻訳する

- ① ホーム画面で<翻訳>をタップします。



- ② 初回は機能の紹介が表示されるので、<続ける>をタップし、「Siri および音声入力の改善」画面が表示されたら、<オーディオ録音を共有>または<今はしない>をタップします。



- ③ 翻訳元の言語（ここでは「日本語」）と翻訳先の言語（ここでは「英語（アメリカ）」）の▼をタップして設定します。



- ④ ①をタップします。



- ⑤ 翻訳したい内容を音声入力します。手順④の画面で<テキストを入力>をタップすると、テキスト入力もできます。



- ⑥ 翻訳した音声は自動再生され、テキストが画面に表示されます。



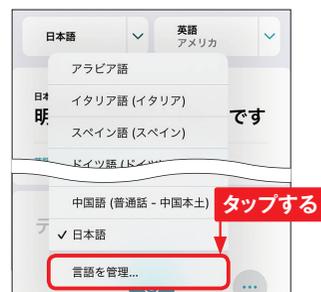
<翻訳>アプリを活用する

- オフライン時にも使用できるようにする

- ① <翻訳>アプリを起動し、画面上部の言語の▼をタップします。



- ② <言語を管理>をタップします。



- ③ 言語をタップしてダウンロードすると、その言語がオフラインで使用可能になります。



- 翻訳をほかの人に見せる

- ① P.190手順⑥の画面で🗨️をタップします。

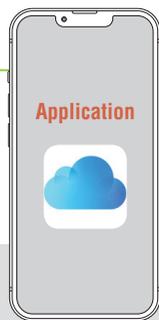


- ② 翻訳したテキストが大きく表示されます。🗨️をタップするとテキストの読み上げ、🗨️をタップすると、手順①の画面に戻ります。



iCloud Driveを利用する

iCloud Driveを利用すれば、複数のアプリのファイルを、iCloudの中に安全に保存しておけます。保存したファイルは、WindowsパソコンやMac、iPadなどのApple製品からいつでもアクセスできます。



iCloud Driveにファイルを保存する

- ① ここでは写真をiCloud Driveに保存します。P.158を参考に、iCloud Driveに保存したい写真を表示し、画面左下の📁をタップします。



- ② 共有メニューが表示されます。上方向にスワイプし、<“ファイル”に保存>をタップします。



- ③ <iCloud Drive>をタップして<保存>をタップすると、写真がiCloud Driveに保存されます。



MEMO アプリのフォルダ

iCloud Driveに対応したアプリ（「Pages」「Numbers」「Keynote」など）を利用すると、そのアプリ用のフォルダがiCloud Driveに作成されます。そのアプリで作成、編集したファイルは、このフォルダに保存されます。



iCloud Driveのファイルを開覧する

- ① ホーム画面から<ファイル>をタップします。



- ③ ファイルの内容が表示されます。



- ② 閲覧したいファイルをタップします。

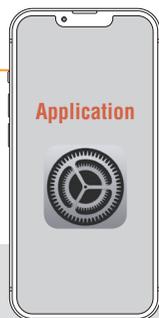


MEMO <ファイル>アプリではほかのストレージサービスを利用する

<ファイル>アプリでは、「Dropbox」や「Googleドライブ」「Box」「OneDrive」など、ほかのクラウドストレージサービスのアプリと連携して、ファイル管理を行うことができます。あらかじめこれらのクラウドサービスのアプリをインストールし、アカウントにログインしておき、<ファイル>アプリで、<ブラウズ>→🌐→<編集>の順にタップします。インストールしたクラウドサービスが表示されるので、利用したいクラウドサービスを有効にすると、「ブラウズ」画面に表示されるようになります。

Apple IDの2ファクタ認証の番号を変更する

Apple IDを作成すると、確認コードを受信したSMSなどの電話番号が、自動的に2ファクタ認証の電話番号として登録されます。電話番号は変更することもできます。



2ファクタ認証の電話番号を変更する

- ① ホーム画面から<設定>→自分の名前→<パスワードとセキュリティ>の順にタップします。



- ② 「信頼できる電話番号」の<編集>をタップします。



- ③ <信頼できる電話番号を追加>をタップします。



- ④ パスコードを登録している場合は、パスコードを入力します。



- ⑤ 追加する電話番号を入力して、番号の確認方法（ここでは<SMS>）をタップして選択し、<送信>をタップします。



- ⑥ 確認が取れると、電話番号が追加されます。<編集>をタップします。



- ⑦ 古い電話番号の⊖をタップします。



- ⑧ <削除>をタップします。



- ⑨ <削除>をタップします。



- ⑩ 古い電話番号が削除され、変更が完了します。



MEMO 確認コードが届いた場合

手順⑤の操作のあとに、入力した電話番号へ確認コードが送信される場合があります。その場合は、コードを確認したあとに、コードを入力すると、手順⑥の画面が表示されます。

バックアップから復元する

iPhoneの初期設定のときに、iCloudへバックアップ（Sec.57参照）したデータから復元して、iPhoneを利用することができます。ほかのiPhoneからの機種変更のときや、初期化したときなどに便利です。



バックアップから復元されるデータ

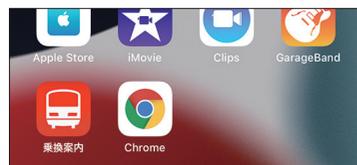
古いiPhoneから機種変更をしたときや、初期化を行ったときには、iCloudへバックアップしたデータの復元が可能です。写真や動画、各種設定などが復元され、App Storeでインストールしたアプリは自動的にダウンロードとインストールが行われます。

● 写真・動画



過去に撮影した写真や動画は、iCloudのバックアップから復元されます。

● アプリ



初期化する前にインストールしたアプリが再インストールされ、ホーム画面の配置が復元されます。

● 設定



各種設定やメッセージなども復元されます。

MEMO 機種変更時などの iCloudストレージ一時利用

機種変更や初期化の際に、利用できるiCloudの容量を超えて一時的にバックアップを作成することができます。このバックアップを利用するには、iPhone 13以前のモデルでは、iOS 15にアップデートして、P.279手順③の画面で、<開始>をタップし、画面の指示に従って操作します。バックアップの保存期間は基本21日間です。

iCloudバックアップから復元する

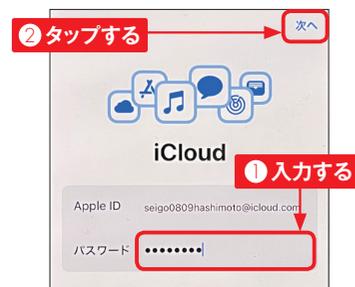
- ① P.282手順⑩の画面で、<iCloudバックアップから復元>をタップします。



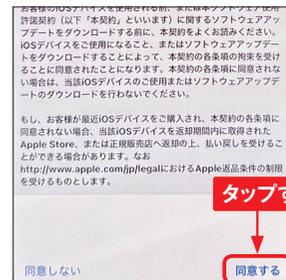
- ② iCloudにバックアップしているApple IDへサインインします。Apple IDを入力し、<次へ>をタップします。



- ③ パスワードを入力し、<次へ>をタップします。



- ④ 「利用規約」画面が表示されます。よく読み、問題がなければ<同意する>をタップします。



- ⑤ 「バックアップを選択」画面が表示されます。復元したいバックアップをタップします。画面の指示に従って進むと、復元が開始され、iPhoneが再起動します。



- ⑥ 再起動が終わるとロック画面が表示されます。上方向にスワイプしてパスコードを入力しロックを解除すると、ホーム画面が表示されます。

